



令和6年度 植田東中学校だより No.2

2024/4/19

HIGASHI

発行者

校長 西内英理

ようこそ植田東中へ！

4月8日の午前中に、第1学期の始業式を行いました。最上級生としての表情が垣間見られるようになった新3年生、先輩としての風格がちょっぴり感じられる新2年生に、今年度の植田東中発展の予感を感じました。

また、午後には、本校第29回入学式を行い、67名の新1年生を迎えました。真新しい制服に身を包み、少々大人っぽくなった新中学生に、保護者の皆様の感激もひとしおのことだったと思います。

学校の主役はもちろん生徒たちです。その生徒たちのために、保護者の皆様と学校とが、「1+1」が「3」にも「4」にもなるように力を合わせ、教育活動に取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



〔 始業式で新2・3年生に話した2つのお願い 〕

- (1) 成長のためには、自分に合った目標を設定し、達成のために努力をおしまないことが大切。特にスモールステップの目標を設定し、ひとつひとつ克服していく。しかし、小さな日々の目標をきちんと達成していくことは難しいこと。クリアできなかった目標をどう立て直して修正し、達成のための努力をするかが大切。
- (2) この植田東中での生活を楽しんでほしい。ただ、楽しむことを自分ひとりの狭い範囲で考えてしまってはいけない。周囲の友人たちも一緒に楽しめなければ意味がない。周囲の人たちの気持ちを尊重し、思いやりの心を持って、励ましや感謝の気持ちを忘れないことが大切。

〔 入学式で新入生に示した3つのキーワード 〕

- (1) 「学ぶ」…… 「豊かな知識」「深く考える力」「正しく判断する力」を身につけるために、授業を大切にしてほしい。
- (2) 「鍛える」…… 体育の授業や部活動などで体を鍛えること。友達や先輩、先生方との関わりの中で心を鍛えること。いやなこと、苦しいこと、辛いことから逃げたり避けて通ったりするのではなく、家族や先生、友達の協力を得ながら立ち向かい克服していく、強い心を身につけてほしい。
- (3) 「楽しむ」…… 様々な学校行事や部活動を存分に楽しんでほしい。ただし学校は集団生活。好き勝手なことをしたり、わがままなことを言ったりして、自分ひとりが楽しい思いをしてはいけない。周囲の友達の気持ちを思いやり、時には自分の気持ちを抑えながら行動し、みんなで楽しむことが大切。

新年度を迎えて（各学年代表生徒から）

【第1学年】（対面式でのあいさつから）

1年1組 齋藤 滯

今日は、新入生の私たちのために対面式という素敵な式を開いてくださり、ありがとうございます。入学式から植田東中学校の一員となり、今日から、真新しい制服にそでを通し、胸をおどらせながら登校しました。

新しい環境で、新たな人間関係を形成していくことや学習についていけるかなどの不安があります。ですが、何に対しても努力を忘れず、一つ一つ一生懸命にはげみ、学業と部活動を両立していけるよう努めていきたいと思っています。

先輩方のご活躍は、これまでいろいろと耳にしていまいりました。植田東中学校の誇り高い校風を早く自分たちも身につけ、活動していこうと思います。まだ何も分からない私たちですが、先輩方のご指導を受けながら頑張っていきます。どうぞよろしくお願いします。

【第2学年】

2年2組 助川 歌音

2年生としての生活が始まりました。私が2学年の目標として掲げることは3つあります。

1つ目は、あいさつです。なぜなら、1年生のはじめのころはあいさつが大きな声で元気にできていたのですが、時間が経過するにつれて、慣れが悪い方に出てしまい、以前ほどあいさつに元気がないように思えるのです。あいさつは相手の気持ちにも大きく影響し、元気のない、沈んだあいさつをすると、相手も沈んだ気持ちになってしまいます。だから、一人一人がしっかりと元気なあいさつをすることで、明るい雰囲気を作りたいと思います。

2つ目は、休み時間の過ごし方です。1年生のころの休み時間は、出入り口のところでしゃべっていたり、教室や廊下でふざけていたりと落ち着きに欠けていました。また、今回の進級で2年生は3階フロアになったので、特別教室や体育館への移動をもっと素早くする必要があります。1年生の時のような調子でいると、遠くなった移動教室に間に合わなくなってしまいます。だから、休み時間はおしゃべりをつつし、次の時間の準備をすることを優先し、先のことを考えて行動できるようにしていきたいと思います。

3つめは、提出物をふくめた学習です。期日を守って課題の提出をすることは、1年生のころからの大きな課題でした。2年生になったので、この課題を克服して、さらに授業に集中し、学力を高めていきたいと思っています。

私たちは、初めて「先輩」と呼ばれるようになります。一人一人が自分の課題に向き合い、東中のため、後輩のため、そして、未来の自分のために、少しずつできるようにしていきたいです。

【第3学年】

3年1組 末広 悠陽

無事全員が進級して3年生になりました。そこで私たちは、最上級生としての自覚をもち、1・2年生のお手本として行動していきたいと思っています。また、校長先生がおっしゃっていた「天下をとる」を意識して行動したいです。天下をとるとは、東中全体をよく見て、東中のために何ができるかを考えて行動することです。天下をとれる3年生になるために、自分の行動に責任をもちたいと思います。課題の忘れや未提出に関して、まだ改善されていない人がいます。また、整列するときに行動が遅い人もいます。自分たちの課題が山積みの状態のため、まだ1・2年生のお手本にはなれていないと思います。そこで、これから3年生はどうやって行動すればいいのか、自分なりに考えました。

まずは、委員会活動についてです。1年生は、委員会活動をしたことがないので、何をすればいいのか分からないはずです。そこで、3年生がリーダーシップを発揮して積極的にコミュニケーションをとり、1年生に分かりやすく活動内容を教えることが大事です。実際に私は、紙に活動内容を簡単に書いて、いつでも確認ができるようにしました。

次は、考えて行動することです。私たちは中学校生活3年目なので、これまでの経験を生かし、先生に言われる前に自分で気付いて、行動に移せるようにしたいと思います。そしてできれば、先生に何かを頼まれたときに「もう完了しています！」という状態になれたらと思います。

最後はメリハリについてです。授業中のときは先生の話を真剣に聞き、行事のときは思いっきり楽しむ、というようにメリハリをつけたいです。そして先生方から、「3年生はメリハリがしっかりついていて良いよね。」と言われるようにしたいです。少しずつ出来るように、学年全体で一丸となって頑張ります。